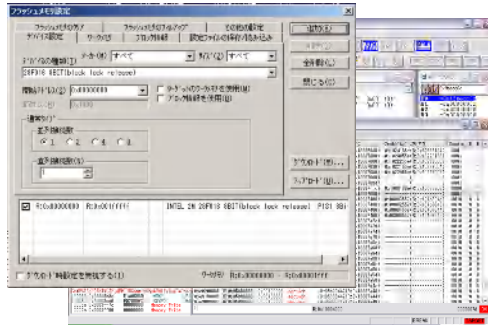


WATCHPOINT Debugger for EJSCATT Xtensa Multi Core



JTAGエミュレータ「EJSCATT」との組合せで使用します



- 小型サイズ(70mm × 108mm × 17mm)
- USB/バスパワーのみで動作可能(デバッグ及びPC接続のライタとして使用時)

■基板の配線切断、MPUの端子状態を確認できるソフトウェア「Query-J」が動作可能^{※6}

特長

- ソフトウェアのみ追加購入でき、ハードウェア本体は共通でソフトウェアの入れ替えのみで使用できます
- フラッシュメモリへのダウンロード機能
- オンボードまたはCPU内蔵フラッシュメモリへの書き込み機能
- スタンドアロンライタとして単体使用可能です(ACアダプタで動作)
- 本体のPLAYボタンによりワンタッチデータ書き込み可能
- 量試、量産品の自動検査、バージョンアップ装置として利用可能

- Tensilica社ライセンスのXtensa LXをサポート
- Tensilica社ライセンスのXtensaコアCPU複数個^{※1}を1台の本体で対応
- Tensilica社指定ICE用インターフェースに対応
- Tensilica社Diamond Standard Processorsに対応^{※2}
- TIE、FLIX命令に対応
- 内蔵ペリフェラル参照/変更
- ハードウェア・ブレークポイントは計4点
(インストラクションアドレス; 2点、データアドレス; 2点)
- ソフトウェア・ブレークポイントは無制限
- C/C++高級言語対応 (動作OS: Windows2000/XP/Vista/7^{※3})
- 各種PC^{※4}、ノートPCなどのホストマシンで動作(USB接続)

主な仕様

| | |
|------------------|---|
| 対象CPU | T1020、T1030、T1040、T1050、6 ^{※5} 、LX、7、LX2、LX3、LX4 Diamond Standard Processorsコア ^{※5} 106Micro、108Mini、212GP、232L、570T、545CK、330HiFi、388VDO |
| ユーザ電源 | VCC1.8~3.6V |
| メモリ空間 | 全ての領域がユーザに解放されています。 |
| 割り込み | 全ての割り込みがユーザに解放されています。 |
| ブレーク | 以下の条件を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアブレークポイント: インストラクション: 2点、データ: 2点* 命令実行アドレス指定、メモリアクセス等指定 ・ソフトウェアブレークポイント: 数は無制限 ・その他: デバッガからの強制ブレーク <p>* ブレークポイントの数は、CPU作成時に決まります。 * 命令実行アドレス指定の2点、データアクセス指定の2点は、CPU作成時に必ず設定してください。</p> |
| フラッシュメモリダウンロード機能 | ターゲットシステム上のフラッシュメモリに対して、デバッガからプログラムを直接ダウンロードできます。 |
| トレース機構 | トレース機構が組み込まれているXtensaLXの場合、弊社デバツカでサポート出来ます。トレース機構についての詳細は弊社までお問い合わせください。 |

※1 同時にデバッグできるCPUは最大10ですが、CPU内部構成、PCの環境によっては10より少なくなる場合もあります。
 ※2 Diamond Standard Processors搭載でオンチップデバッグインターフェースの付いたASICに対応。
 ※3 Windows XP Professional x64Edition(64ビット版)およびWindows Vista/Windows7の32ビット版、64ビット版に対応。
 ※4 一部の機種において動作チェックの必要がありますので、事前に確認のほどお願いいたします。
 ※5 Xtensa6、Diamond Standard Processorsは、MMUIには対応していません。
 ※6 使用しているデバイスのBSDFLファイルが必要です。WATCHPOINTとQuery-Jの同時実行についてはお問合せください。

製品構成

商品構成 以下のものが同梱されます。



■CD-ROM



■JTAGケーブル

※本製品は、Tensilica社ライセンスのXtensa シリーズCPU対応デバッグとして開発された製品です。他のCPUのソフトウェア開発には使用することができません。

サポート言語:

高級言語デバッグ「WATCHPOINT」で高級言語デバッグを行うためには、デバッグ対象のプログラムとそのプログラムのデバッグ情報を必要とします。最適なデバッグ情報出力するCコンパイラまたはアセンブラには下記の言語があります。

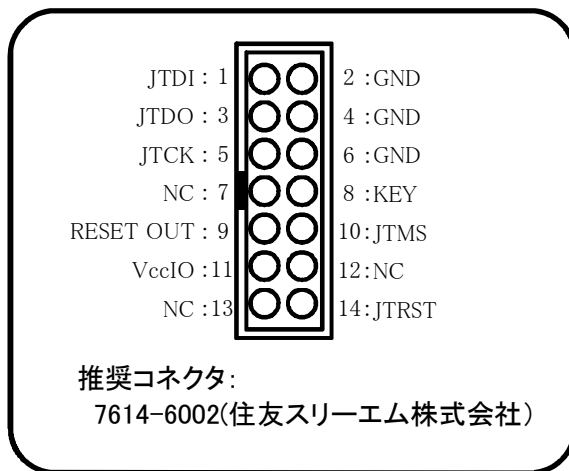
- ・コンパイラはCPU作成時にTensilica社から提供されます (例外もあります)

サポートOS:

- ・TOPPERS

※サポートコンパイラ・Ver等は、変更がある場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、サポート言語のVerによって、対応状況が変わる場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、一部オプションソフトウェアが必要な場合がありますので、お問合せください。

ターゲット接続



WATCHPOINTソフトウェアライセンスについて

WATCHPOINT Debugger for EJSCATT ではライセンス・システムを採用しています。インターネットを利用し、ソフィアシステムズのライセンスデータサーバーにアクセスしてライセンスを取得します。ライセンスを取得するとライセンスファイルが生成されます。ライセンスファイルはPCを移動して使用することができます。1台のJTAGエミュレータに対して複数種類のWATCHPOINTライセンスを取得する(関連付ける)ことができます。

※WATCHPOINTライセンスは一度関連付けたJTAGエミュレータのみで使用可能です。別のJTAGエミュレータで使用する場合は、ソフトウェアを追加購入して下さい。

セレクション・ガイド(製品ご購入ガイド)

| お客様側にてご用意 | | 標準的なデバッグシステム構築に購入必要な製品 | | | オプション製品 |
|-----------|---------------|------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------------|
| ホストPC※1 | PCとの接続 | JTAGエミュレータ | ソフトウェアデバッグ (WATCHPOINT) | サポートサービス | アドオンソフトウェア、アダプタ |
| WindowsPC | USB2.0/1.1 接続 | SCD001J EJSCATT | SCM0801 WP DBG for EJS Xtensa MC | SSS010 ソフィア・サポート・サービス | SCT001 Query-J |

太枠口で囲まれた部分の製品は標準的なデバッグシステム構築時に必須となる製品です。JTAGエミュレータはソフトウェアデバッグライセンスご使用時、ハードウェアキーの役割を果たします。

※1 ホストPC環境、OS:Windows2000/XP/Vista/7、メモリ:Min 32MB以上・推奨64MB以上、HD容量:インストール時20MB必要。

(MKT-16CAP24)

- * 各製品は、各社の商標または登録商標です。
- * 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

価格はお問い合わせください

お問い合わせは最寄りの営業所へ

- 本社営業部 (044)989-7253(直)
- 大阪営業所 (06)4805-8505(代)
- 名古屋営業所 (0586)28-7365(代)